

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
オレンジ・カルクフェルド地域資源開発調査	オレンジ・カルクフェルド地域の、レアアースおよびポーフィリー型の銅鉱床の賦存の状況を調査することを目的としている。 1993年度は、既存データ解析と地化学探査を実施した。その結果オレンジ地区とカルクフェルド地区において、レアアースの賦存状況の概要が把握された。	鉱山エネルギー省地質調査所	金属鉱業事業団

● ニジェール

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
南西部国土基本図作成調査	ニジェール南西部の開発ポテンシャルを持つ地域約2万7000km ² を対象に1/50,000の国土基本図を作成するものであり、1993年度は、92年度に引き続き本格調査を実施し、空中三角測量、現地調査、図化・編集の一部を行った。	大蔵省地図局	(株)国際建設技術協会 (株)国際航業

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
第2次ウアラム農村復興計画	水利環境省	(株)建設企画コンサルタント				93.10(本)	
ニジェールにおいて、約100カ所の井戸を建設するとともに代表的な地区に小規模な灌漑施設を建設する。							
ヤンタラ浄水場拡充計画	水利環境省 国営水道公社	(株)協和コンサルタンツ	93	7.77	93.7.1		
			(93年度 2.29)				
			(94年度 5.48)				
ニジェールの首都ニアメ市のヤンタラ浄水場の能力を向上させるための施設を建設する。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業・牧畜省 植生保護局 (農薬) 農協・食料供 給センター (肥料)	(財)日本国際協 力システム	93	5.00	93.7.1	(資)	93.6(実) 93.10(実)
<p><穀物増産計画> ニジェールはサヘル地域に位置し、国土の大半は砂漠に覆われており、天水に依存したその農業は著しく不安定である。本計画は同国南部地域を主な対象としたもので、内容は次のとおりである。</p> <p>(1) 肥料は灌漑農業地帯であるティラベリ、ドッソ、タワ、マルディー、リンディールを中心に使用する。</p> <p>(2) 農薬は主として移動性のバッタ対策として不可欠な物であり、全耕作地が対象となる。</p> <p>(3) 農業機械、車輛の投入により、農作物保護、技術指導を含む支援体制の強化が図られる。</p>							

ニ
ジ
エ
ー
ル
ア
フリ
カ

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
鉱物資源探査用機材	一式	69,216	鉱山・エネルギー・工業・ 手工業省	一般単独機材	専門家派遣

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
シルバ地域資源開発調査	シルバ地域の全鉱床の賦存状況の調査を目的としている。1993年度は、トレンチ調査、ボーリング調査を実施し、ナマロ地区ムバンガ鉱化帯周辺で有望鉱徴を捕捉した。特にムバンガ北では、ENE-WSW方向、幅約200m、延長約900mの範囲に鉱化帯が分布し、石英脈とその周辺母岩中に多数の有望鉱徴を捕捉した。	鉱物資源公社	金属鉱業事業 団

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
学校建設計画	国民教育研究 省	(株)大建設計	93	6.08	94.3.3	93.7(本) 93.10(報)	
ニアメ都市区において、小学校・中学校の教室などの学校施設を建設する。							

● ○ ● ナイジェリア

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
全国水資源総合開発計画	国民生活水準の改善、国家財政の再建を目的としてナイジェリア全土を対象とした水資源総合開発計画(マスタープラン)を策定するもので、1993年度は92年度に引き続き本格調査を実施し、中間報告書まで作成した。	連邦水資源省	(株)三祐コンサルタンツ (株)住鉦コンサルタント

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
オンド州ギニアウォーム 対策飲料水確保計画	オンド州水道 公社	(株)三祐コンサル タンツ				93.11(本)	
ナイジェリアのギニアウォーム最大汚染地域であるオンド州に、ハンドポンプ方式による井戸の建設を行い、良質な水を供給することで、ギニアウォーム症を根絶する。							
北西部地域飲料水確保計 画(ケッピ州)	ケッピ州水道 公社	国際航業(株)				(本) (国内作業)	
乾燥した北部地域の中・大規模村落を対象に、深井戸と給水システムを建設し、安定的に良質な水を供給する。							

連邦環境研究所環境測定 機器整備計画	連邦環境保護 庁	(財)日本国際協 力システム				(資)	
体系的な国内の環境測定・分析と環境情報を整備するため、既存の連邦環境研究所へ機材を供与するものである。							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
ローア・アナンブラ灌漑 稲作計画 (当初R/D協力期間) 89.1.1~93.12.31	87	コンタクト調査	92年度までの 累 計		27	8	180,074
	88	事前調査					
	88	実施協議	93年度		0	1	36,626
	88	実施設計					
	90	計画打合せ					
	91	巡回指導					
92	巡回指導	継続	10	2			

〈要請の背景〉

ナイジェリアは、人口の約55%が農業に従事しているが、人口増加に伴う食糧需要に農業生産が追いつかず、米などの農業開発が経済開発計画の最重点政策のひとつに取り上げられている。こうした状況のもと、1978年、ナイジェリア政府は独自に実施設計調査を行い、その結果、円借款事業として同国アナンブラ州に米の二期作を可能とするような灌漑施設・圃場を建設し、完成後の営農のための農業機械の調達などを行っている(81年10月借款契約(L/A)、87年2月土木工事完了)。

この円借款のフォローアップとして、ナイジェリア農業水資源地方開発省(当時)より、在ナイジェリア日本大使館を通じ、わが国に対し無償資金協力による稲作普及技術協力センターの設立、日本人専門家による営農指導・稲作普及サービス、機材供与などを内容とする技術協力の要請があった。

〈目的・内容〉

ナイジェリアにおける稲作生産向上への貢献を目的として、適正な灌漑稲作栽培技術の確立・移転を行う。具体的内容は以下のとおり。

- ①灌漑排水、水管理技術、管理体制の確立
- ②適正品種の選定と灌漑稲作栽培技術の確立
- ③農業機械の適用試験と維持管理
- ④上記に関する演習・普及および研修・訓練

〈現状・目標達成〉

1992年10月に派遣した巡回指導調査団により、プリ・エバリュエーションを実施した結果、技術移転はおおむね順調に進行しており、93年12月末日をもって当プロジェクトを終了した。

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業・天然資源省農業局	(株)日本国際協力システム	93	4.00	93.6.3	(資)	
<p><国家稲作増産計画> ナイジェリア政府は、1995年までに米の国内自給を達成し、その後に米を輸出作物とすることを目指し、稲作振興策を実施してきた。本件援助は、この計画を補足するためアナンブラ州を中心としたナイジェリア全国の稲作圃場で使用される生産資機材を調達し、食糧増産を図るものである。</p>							

ルワンダ

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
国道維持管理用機材整備計画	公共道路・エネルギー・利水省土木工事総局	(株)片平エンジニアリング	93	4.61	94.1.10		
<p>ルワンダの国道を維持管理するために必要な機材を整備する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農林・畜産省	(株)日本国際協力システム	93	4.00	93.6.18	(資)	
<p>本件はルワンダ全国12県80万haの耕地を対象に、食糧増産を図るため実施されるもので、穀物種子の消毒をはじめとする病虫害対策、堆肥による土壌の肥沃化などのために必要な農薬肥料の要請である。本計画実施の結果、約740万人の国民が直接また間接的な受益者となると見込まれている。</p>							

サントメ・プリンシペ

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
アイレス・ディ・メネゼ ス病院医療機材整備計画	保健省 アイレス・デ イ・メネゼス 病院	(株)日本国際協 力システム	93	2.20	94.2.11	93.7 (現地確認)	
同病院の放射線科、外科、小児科、産婦人科、薬局への機材供与および救急車の供与。							

セネガル

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
ダカール市周辺地域下 水・排水施設整備計画	本計画は、急激な人口集中による衛生環境の悪化に対応するため、首都ダカール市と周辺地域を対象とする下水・排水施設に関するマスタープランを策定し、優先プロジェクトについてフィージビリティ調査を行うものである。1993年度は92年度に引き続き本格調査を実施し、進捗報告書(II)まで作成した。	地方開発水利 用省	(株)パシフィック・コンサル タンツ・イン ターナショナル (株)東京設計事 務所

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
輸送力増強計画	公共事業省						(F/U) 資機材購送
<p>本計画は1984年度の無償資金協力でセネガルへ供給された早魃被災民への援助物資輸送用車両について、調査のうえスペアパーツを購送し、稼働率を上げることを目的としている。</p>							
地方都市給水網整備計画	セネガル上下 水道公社	日本テクノ(株)	93	7.68	93.8.2		
<p>セネガルのなかでも特に人口が密集している地方都市で、取水、導水、貯水、配水など一連の給水センターのリハビリと拡張工事のための調査を行う。</p>							
地方給水施設整備計画	水利省地方水 利局	日本テクノ(株)	93	5.98	94.3.9		
<p>既存井戸に揚水ポンプ、給水システムを設置し、給水量の質的・量的向上を図る。</p>							

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
零細漁業振興用機材	一式	4,264	動物資源省ミシラ漁業センター	一般単独機材	

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
デビ地区灌漑改修計画	地方開発水利 用省	太陽コンサル タンツ(株)	93	8.79	93.8.2		
<p>セネガル河下流デルタ地帯のデビ地区における、灌漑・排水施設のリハビリと拡張計画。</p>							

ミシラ漁業センター機材整備計画	設備運輸海洋省	オーバーシーズ・アグロフィシャリーズ・コンサルタンツ(株)				93.12(本)	
零細漁業振興のため同センターの施設、機材の整備を行う。							
食糧増産援助	農業省	(財)日本国際協力システム	93	6.00	93.6.29	(資)	93.7(実)
穀物の自給率を、2000年までに現在の50%から80%にまで増やす「穀物増産計画」の一環として病虫害防除用の農薬を中心とした資機材の供与を行う。							
零細漁業振興計画	漁業海運省	オーバーシーズ・アグロフィシャリーズ・コンサルタンツ(株)	93	1.62	94.5.26		
1989年、わか国の無償資金協力によって開設されたミシラ漁業センターの活動をさらに補強し、南部地域の漁業振興を図るため小型漁船、ディーゼルエンジンなどの機材供与を行う。							

セネガル
アフリカ

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ダカール地区配電網整備計画	セネガルの電源開発計画、将来の電力需給バランスと既存の電力設備などを調査して、ダカール周辺地区において早期に拡充すべき電力設備についてフィージビリティ調査を行うものである。 1993年度は予備調査を実施し、課業指示書を入力後、事前調査を行い実施細則の署名を行った。	セネガル電力公社	

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
小学校教室拡充計画(II)	国民教育省教育訓練計画局	㈱大建設計				93.9(本) 94.2(報)	
セネガルにおいて、約500の小学校教室の整備、拡充を行う。							

● その他の分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
首都圏清掃機材、沿岸漁業振興計画	地方分権庁 ピログ動力 化推進センタ ー						93.11 (F/U調査) 資機材購送
1987、86年度の無償資金協力で調達された清掃車、冷凍車などについて現況を調査のうえ、機材のスペアパーツなどを購送する。							

○ セイシェル

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
沿岸漁業振興計画	セイシェル漁業公社	D&A エンジニアリング㈱				93.9(本) 93.11(報)	
沿岸漁業の振興のため漁船、漁具、調査船の供与によりマヘ島などの漁業施設を整備する水産振興計画の策定に関する調査。							

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
自動車検査用機材	一式	21,888	セイシエル・ポリテクニッ ク工学部	一般単独機材	専門家派遣

シエラ・レオネ

● エネルギー分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
フリータウン電力供給改 善計画	国家電力庁	八千代エンジ ニヤリング(株)	93	11.63	93.7.27	(本) (国内作業)	
フリータウン首都圏のキングトム発電所にディーゼル発電機1機を新規設置することにより、同首都圏への電力供給能力の拡充を図る。							

スワジランド

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
地方電話網整備計画	スワジランド 郵便電気通信 公社	(株)海外通信・ 放送コンサル タンツ	93	7.83	93.6.17		
スワジランドを4つの地域に分割し、それぞれの中心都市に無線局を設置し、中継局や加入者局からなる農村地域の通信システムを整備する。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業協同組合 省	(株)日本国際協 カシステム	93	3.00	93.6.17	(資)	
<p>食糧増産や小規模農家所得の向上などを目的として以下の施策を中心とするプロジェクトを推進している。</p> <p>①小規模農家に対し、安定的かつ安価な肥料を供給する。</p> <p>②辺境地あるいは未開墾地を開拓する。</p> <p>③早魃に強い作物の生産増強を進める。</p>							

タンザニア

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
ルブ川水資源開発計画	首都のダルエスサラーム市への水供給と流域の農業開発を主目的としたルブ川流域の水資源開発計画を策定するものである。1993年度は92年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書案まで作成した。	水・エネルギー・鉱物省	日本工営(株) (株)パシフィック・コンサル タンツ・インターナショナル
アルーシャ州モンドリ地区水資源開発計画	タンザニア・アルーシャ州モンドリ市とその周辺地域を対象に、生活用水などの確保のために地下水を中心とする水資源開発計画を策定する。1993年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。	水・エネルギー・鉱物省	
ダルエスサラーム道路開発計画	本計画は人口・経済規模の拡大するダルエスサラーム市の交通網を抜本的に整備し、首都機能の維持を図るため、総合的、長期的観点から道路整備計画のマスタープラン調査、フィージビリティ調査を行うものである。1993年度は本格調査を開始し、主に長期整備計画を内容とした中間報告書を作成した。	公共事業省	日本技術開発 (株) 日本工営(株)

ムワンザ・ゲイタ地域国土基本図作成調査	タンザニア有数の穀倉地帯であるムワンザ・ゲイタ地域の約2万5500km ² を対象に縮尺1/50,000の国土基本図を作成するものであり、1993年度は92年度に引き続き本格調査を実施し、図化・編集、現地補足測量を行った。	国土省都市住宅局測量地図課	(社)国際建設技術協会 (株)パスコ・インターナショナル
---------------------	--	---------------	---------------------------------

.....
無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
道路補修機材整備計画	公共事業省	(株)片平エンジニアリング	93	3.65	93.6.21		
修復済み路線の維持管理体制確立のため、主要3幹線道路を担当する8地方局に対する道路補修機材の調達を行う。							
ダルエスサラーム電話網改修計画	タンザニア郵便電話公社	日本情報通信コンサルティング(株)	93	9.79	93.6.21		
ダルエスサラーム市内とセントラル局の支配電盤の更新と、セントラル局とブグロード局内の1次、2次ケーブルと切換盤の更新を行う。							
首都圏道路網整備計画	ダルエスサラーム市(公共事業省が技術支援)	日本技術開発(株)/日本工営(株)共同企業体	93	13.33	93.6.21		
ダルエスサラーム市内幹線・補助幹線の拡幅、路盤・舗装修復、道路補修用機材の供与を行う。 なお、今回の計画はモロゴロ道路(5.7km)の改修工事である。							

● 農林・水産分野 ●

.....
機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
農地開発分級分析用機材	一式	31,091	ソコイネ農科大学	一般単独機材	専門家派遣

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
キリマンジャロ村落林業 計画(II) (当初日/日協力期間) 93.1.15~98.1.14	92	事前調査 計画打合せ	92年度までの 累 計		1	0
	93				3	2
			93年度		4	1

〈要請の背景〉
半乾燥帯が広く分布するタンザニアでは、人口増加に伴う森林の耕地化、過度な薪炭材採取と過放牧により森林(サバンナ林)が急速に減少している。森林の減少を緩和し、地域住民の薪炭林需要に応じていくため、タンザニア政府は、村落林業(薪炭林造成、アグロフォレストリーシステム、飼料木林造成など)手法の導入による半乾燥地における森林造成を目指す協力を要請した。

〈目的・内容〉
協力実施を2段階とし、第1期(準備フェーズ)2年間では、村落林業の実施に必要な地域情報を収集するとともに、村落林業に適した苗木の生産技術を開発する。第2期(本格フェーズ)では、デモンストレーションフォレスト(展示林)の造成を通じた半乾燥地の村落林業の実証普及を予定している。

〈現状・目標達成〉
苗畑分野では、ムコンガ苗畑で試験育苗を実行中である。造林分野では境界林、並木林が植栽された。また展示林の林地設定のための境界測量・製図を行っている。普及手法分野では、苗木植付パンフレットが作成されたほか、プロジェクト近くの水場に、試行的に普及モデルプロットを1カ所設定した。

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	タンザニア肥料公社 農業省	(株)日本国際協力システム	93	7.50	93.5.24	(資)	

国民の食糧ニーズの増大に対処するとともに、栄養状況の改善と安定的な食糧供給体制を確立することを目標とした国家食糧戦略のもとに、耕作地の増加、肥料・農薬の供給、農機具の供給、省力化、灌漑を推進する食糧増産計画を実施する。

● エネルギー分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
電力配電設備改善用機材	一式	13,823	タンザニア電力公社	一般単独機材	専門家派遣

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
ダルエスサラーム市電力 供給拡充計画	<p>ダルエスサラーム市の将来の電力需要増に対応し首都機能を維持するため、送配電系統の抜本的な拡充増強のためのマスタープランを策定し、その結果を用いて短期プレ・フィージビリティ調査を実施する。</p> <p>1993年度は、作成途中のマスタープランを完成したのち、プレ・フィージビリティ調査を実施し、年度末に最終報告書を提出し調査を完了した。</p>	タンザニア電 力公社	電源開発㈱

タンザニア●アフリカ

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相 手 国 実施機関	調 査 業 務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
マラリア抑制計画(V)	ダルエスサラーム市、タンガ市(保健省が技術支援)	ビンコー(株)	93	6.74	93.6.21	(資)	
<p>タンザニアより要請のあったマラリア抑制計画(第Vフェーズ)の実施に必要な薬剤散布用資機材、検査用・広報用資機材などの供与を行う。</p>							

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
電気通信網長期計画	本計画はウガンダ全土を対象に2007年を計画目標年次とする電気通信網マスタープランを策定するものである。1993年度は92年度に締結した実施細則に基づき、本格調査に着手し中間報告書まで作成した。	郵便通信公社	日本情報通信コンサルティング(株)
ヴィクトリア湖北部地形図作成調査	ウガンダ・ヴィクトリア湖北部地域約2万9000km ² を対象として縮尺1/50,000の地形図を作成するものであり、1993年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。	土地・住宅・都市開発省 測量・地図局	

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
中部農業総合開発計画調査	農業開発ポテンシャルの高いウガンダ中部地域における食用作物、換金作物の増産による農民の生活水準向上を主目的とし、同地域に位置するムコノ、ルウェロ、ムビギ、マサカの4行政区約4万203km ² を対象として農業総合開発計画(マスタープラン)の策定を目的とする調査を行うものである。 1993年度は、第1次現地調査の結果を分析し、中間報告書に取りまとめた。第2次現地調査を実施し、進捗報告書(II)を作成しウガンダ側へ説明するとともに、国内解析を取りまとめた最終報告書案を作成した。	農業・畜産・水産省	農用地整備公団

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業・畜産・ 水産省	(財)日本国際協 力システム	93	4.00	93.5.18	94.1(資) (現地確認)	93.6(契)
<p>〈食糧増産計画〉 ウガンダは復興開発計画のもとで経済再建に取り組んでおり、食糧自給の確保は最優先課題である。 肥料、農薬、農業機械を投入することにより、単位面積当たりの収量増加、病虫害の防除、干害防除を図り、食糧増産を目指すもの。</p>							

● エネルギー分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
首都圏配電網整備計画 (III)	ウガンダ電力 公社	八千代エンジ ニヤリング(株)	93	14.36	93.11.23	93.6(本) 93.9(報)	
<p>配電施設の老朽化のため電圧降下などが発生し、電力供給事情が悪化しているカンパラ市に、配電用変電所を新設更新することにより電力事情の改善を図る。</p>							

● ザンビア ●

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
全国水資源開発計画	<p>ザンビアの生活用水、灌漑用水の確保、さらには今後の水資源開発が進んだ場合の各利水者間の調整を図るため、主要河川水資源開発調査(第I期)で行った水文解析データをもとに、ザンビア全土を対象とする水資源総合開発に関するマスタープランを策定するものである。</p> <p>1993年度は本格調査に着手し、進捗報告書(I)まで作成した。</p>	エネルギー・ 水開発省	八千代エンジ ニヤリング(株)

全国通信網整備計画	ザンビア全土を対象とした2012年までの全国通信網長期整備計画に関するマスタープランを策定するものであり、1993年度は、92年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書をザンビア政府に提出した。	郵便通信公社	日本情報通信 コンサルティング㈱
-----------	---	--------	---------------------

.....
無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
カフェ川道路橋架替計画	公共事業省道路局	㈱長大	93	2.90	93.6.25		
<p>カフェ道路橋は首都ルサカ南方50kmに位置し、南部州と他の州を結ぶ唯一の橋であるばかりでなく、南部アフリカ開発調整会議(SADCC)諸国と連絡する国際幹線道路上にあり、資源の国内および周辺諸国への輸送に主要な役割を担っている。同橋はイギリスで使用されていたものを約40年前に移設したもので、老朽化、損傷が著しいため、架け替えを行う。</p>							
ルサカ市周辺地区給水計画	ルサカ市上下水道公社	日本テクノ㈱	93	4.48	94.4.20	93.9(本) 94.1(報)	
<p>首都ルサカ市ジョージ地区を対象とした深井戸建設、高架水槽、配水管、共同水栓からなる簡易給水システムの建設計画である。</p>							
地方給水計画	エネルギー水開発省水利局	日本テクノ㈱	93	7.49	93.6.25		
<p>本計画はルサカ州、中央州、コッパーベルト州における深井戸掘削、改修を主要内容とする地方給水施設計画である。 全体計画では220本の深井戸建設と160カ所の既存給水施設の改修を行うが、今回計画では削井機材一式の供与、新規掘削井53本、既存給水施設64カ所の改修を行う。</p>							
ルサカ市電話網改修計画	郵便電気通信公社	日本情報通信 コンサルティング㈱	93	6.06	93.6.25	92.4	
<p>ルサカ市内8地区のうちルサカ・メイン地区とリッジウェイ地区の老朽化した電話線路網の整備および交換設備の更新を行う。</p>							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
ザンビア大学獣医学部技 術協力計画(II) (当初R/D協力期間) 92.7.22~97.7.21	91	事前調査	92年度までの 累 計	4	4	55,925
	92	実施協議				
	92	計画打合せ	93年度	新規	7	5
		継続		0	0	

〈要請の背景〉

ザンビアは約320万頭の牛を保有する牧畜国であるが、家畜疾病などのため生産性が低く、畜産物を輸入している。また、獣医師の数が極端に少なく(約70人、協力開始当時)家畜衛生対策が遅れている。この状況を打開するため、ザンビア政府は、ザンビア大学に獣医学部を新設し、獣医師の養成を図ることとし、この計画について1982年にわが国に対し、無償資金協力と技術協力を要請してきた。

その後7年半の協力で、おおむね当初目標である獣医師養成のための獣医学部教育制度確立の達成にめどが付き、92年度までに5回生77人の卒業生(獣医師)を輩出した。

一方、学部教育体制はほぼ確立されたものの、教官の大半は非ザンビア人であるため、ザンビア政府はザンビア人みずからの手で教官育成ができる大学院教育に関するフェーズIIの協力をわが国に要請してきた。

〈目的・内容〉

ザンビア人教官を養成するため、これまでに確立された獣医学部教育、獣医学研究、普及活動を充実強化しつつ、修士課程を中心とした大学院教育の確立を目的とする。

〈現状・目標達成〉

これまで1~5回生合計77名が獣医学部を卒業し、一連の獣医学教育制度の基礎が確立されたと考えられる。今後は、専門家の活動は学部教育から大学院教育に比重を移すとともに、ザンビア人による学部運営の確立を図ることが重要である。この点において、従来日本人専門家が担当していた基礎獣医学講座と疾病予防学講座の講座主任を1994年2月、3月にザンビア側が担当することとなったこと、獣医寄生虫学の一分野(蠕虫学)がザンビア人により担当できるようになったことなど、徐々に効果が現れている。

大学院教育では修士3名、博士2名が誕生している。

ザンビア●アフリカ

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
南西地域チーク林資源調査	西部地区のチーク林に関する森林資源と当該地域の社会経済状況を総合的に調査し、維持可能な森林管理計画を策定する。 1993年度は実施細則に署名し、調査対象地域の航空写真の撮影と地形図作成のための準備を行った。	環境天然資源省	(株)パスコ・インターナショナル

ザンベジ川流域モング地域農村開発計画	<p>開発の遅れている西部州モング地域において効果的な営農技術の導入により農業生産物の増産を図り、小規模農民の生活レベルの向上に役立てるため開発調査を行う。</p> <p>1993年度は、93年8月に事前調査を行い実施細則を締結した。その後、調査全体の手法などを取りまとめた着手報告書を作成し、94年2月から3月にかけて、第1次の現地調査を行った。</p>	農業・食糧・水産省	太陽コンサルタンツ(株) 国際航業(株)
--------------------	--	-----------	-------------------------

.....

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業・食糧・水産省	(株)日本国際協力システム	93	12.00	93.5.26	(資)	
<p>ザンビアにおいて、主食であるメイズ価格を自由化するとともに、円滑な肥料供給体制を展開することによって、メイズに対する農家の生産意欲を高め、食糧自給率の向上をもたらす計画である。</p> <p>しかし、92年は未曾有の大旱魃により大きな被害を被っており、肥料の商業輸入もままならない状況で、上記計画実施上、肥料の援助が非常に重要になっている。</p>							
カウंगा地区農村開発計画	農業・食糧・水産省						93.5 (F/U調査)
<p>1987年度に無償資金協力を行ったカウंगा地区農村開発計画における施設・機材の管理状況を調査し、今後必要なフォローアップ内容を明確化する。</p>							

● 鉱工業分野 ●

.....

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
自動車整備用機材	一式	2,808	内務省警察本部	一般単独機材	専門家派遣

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
チャンピシ南東地域資源開発調査	地質学的・鉱床学的手法により鉱物資源賦存の可能性を調査する。 チャンピシ南東鉱床において、探査余地のある鉱体の傾斜延長の深部に対して、ボーリング調査を実施して埋蔵鉱量の拡大を図る。 1993年はボーリング調査を実施し、実施したボーリングすべてにおいて頁岩中の銅鉱染を捕捉した。	ザンビア銅鉱山公社	金属鉱業事業団

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
薬学実習用機材	一式	8,498	科学技術・職業訓練省 エブリホン学芸短大	小規模単独機材	協力隊

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
職業訓練拡充計画 (当初R/D協力期間) 87.10.1~92.9.30 (フォローアップ協力期間) 92.10.1~94.10.31	86	基礎調査 事前調査 長期調査	92年度までの 累 計	39	19	186,307
	86					
	86					
	87	実施協議 計画打合せ 巡回指導	93年度	新規	7	4
	87					
	87					
	88	巡回指導 計画打合せ 巡回指導	93年度	継続	5	1
	89					
	89					
90	計画打合せ エパリュエーション	93年度	継続	5	1	
91						
92						

<要請の背景>

1985年10月、安倍外務大臣(当時)より、南部アフリカ情勢の政治的安定に貢献するとの観点から、南アフリカ諸国における人作り協力を積極的に推進する旨の発言がなされた。このような経緯から、86年6月、ザンビアを対象に職業訓練分野での協力を実施し、将来的には、同国を拠点とした第三国研修の実施を通じ、南部アフリカ諸国への技術協力実施の可能性を調査・検討する目的で基礎調査団をザンビアに派遣した。

その結果、ザンビア高等教育大臣ら関係者より、同国における職業訓練分野での協力を強く要請されるとともに、実施の妥当性が確認された。

〈目的・内容〉

ザンビア政府は、同国経済の過度の銅産業への依存体制からの脱却を図るために、国家開発計画において工業・サービス業部門の拡充を重点項目にあげている。そのため、本プロジェクトでは、国内の職業訓練校の教育内容の向上を図ることを目的とする。

〈現状・目標達成〉

- (1) 評価調査により、KITI、NORTEC、DTEVTHDQの3サイトについては、テキスト作成などの技術移転を完了するため、2年間のフォローアップ協力を実施することとなった。
- (2) 訓練卒業生の就職状況も良好である。
- (3) 機材の維持・管理と利用状況も、おおむね良好である。

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
ザンビア感染症 (当初円/口協力期間) 89.4.1~94.3.31	88	事前調査	92年度までの 累 計	26	10	269,132
	88	実施協議				
	89	実施設計	93年度	5	4	85,011
	89	機材修理				
	90	計画打合せ				
	92	巡回指導				
92	機材管理指導					
93	エバリュエーション	継続	5	4		

〈要請の背景〉

1980年2月より9年間継続したザンビア大学医学部プロジェクト(新生児管理、小児外科分野を中心に協力)は、89年2月に協力期間を終了したが、ザンビア政府は、同国において対策の立ち遅れている感染症分野に焦点をあてた新プロジェクトの実施について要請してきた。

〈目的・内容〉

ザンビア大学医学部と大学病院の人材養成を通じて、感染症対策の確立・強化を図る。

- ①ラボラトリーにおける感染症診断(特に経口)方法の確立
- ②上記診断によるザンビア人の感染症患者の病理分析
- ③病理分析に基づく感染症治療の標準化

〈現状・目標達成〉

- (1) 国内インフレの悪化、ルサカへの人口集中などにより同国の医療サービスが相対的に低下しており、本プロジェクトのカウンターパート機関であるザンビア大学教育病院(UTH)に患者が集中し、UTHの本来の機能(教育研究、レファランス)に影響が生じてきている。
- (2) 基本的な技術移転についてはほぼ目標を達成しつつあり、治療方法標準化のまとめ作業が行われている。